

図書館 通信

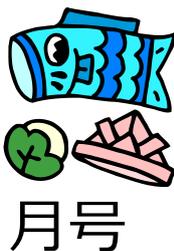


画：長田 清（登別美術協会）

豊かな時間を図書館で

令和4年
(2022年)

5



月号

第492号(第41巻第2号)

【目次】

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| P1 図書館50歳のご挨拶 | P6 職員コラム |
| P2 行事と展示のお知らせ | P7 職員のおすすめ本 |
| P3 大型資料のご紹介と事業報告 | P8 新着図書案内 |
| P4 アーニス分館だより | P12 カレンダーとのお知らせ、
図書館施設のご案内 |
| P5 市民のひろば | |

編集・発行 登別市立図書館
〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1
電話(0143)85-4324 FAX(0143)85-4325

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>
E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

祝 登別市立図書館は50歳になりました！

昭和47年5月10日に登別市立図書館は開館しました。今月、50歳を迎えることとなります。

50歳を迎えるにあたり、この間、図書館に携わってこられた多くの方々のご尽力と、市民の皆さまの善意に支えられて今日を迎えることができましたことに、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

50年という歳月から施設はだいぶくたびれてきました。現在の「滞在型」をコンセプトにした新しい図書館を見るに、やはり古さは否めません。

その一方で、図書館の書架の多くがボランティアの方々の手作りの書架であることや、図書の1冊1冊に新聞や雑誌の書評を貼っている取り組みなど、地味ですが50歳らしい「味がある図書館」ともいえるのかなと思います。

「豊かな時間を図書館で」

これは、登別市立図書館が掲げているキャッチフレーズです。

コロナ禍という状況ですが、だからこそ、市民の皆さまが豊かなひとときを過ごしていただけるよう、取り組んでまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

登別市立図書館 職員一同

映画会

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

今月は7日です！（毎月第1土曜日に開催）

- こども映画会** 「リトルモンスター」（アニメ 約30分）
10時30分～ ◎個性豊かな子どもたちが主人公のイギリス原作アニメです。
※次回は「藤城清治影絵劇」から「ブレーメンのおんがくたい」を上映します！
- 名画鑑賞会** 「プロフェッショナル 仕事の流儀」（43分+43分）
13時30分～ ◎NHKの人気番組から「棋士 羽生善治の仕事」、
「ウイスキーブレンダー 輿水精一の仕事」の2本を上映します。
※次回は名作映画「ローマの休日」を上映します！

おはなし会

※会場は①アーニス分館、②③図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

- ①**デジタル分館おはなし会**（電子絵本や電子紙芝居の読み聞かせ）
日時 5月7日（土） 13時より **※毎月第1土曜日**
- ②**えほんのへやのおはなしかい**（絵本や紙芝居の読み聞かせ）
日時 5月14日（土） 14時より **※毎月第2土曜日**
- ③**おはなしぼけっと**（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）
日時 5月28日（土） 13時30分より **※毎月第4土曜日**

イベント・講座

※詳しい内容は職員にお尋ねください。
児童室会場の企画は予定数到達時点で終了です。

こども★フェスタ2022 開催日：5月5日（木）

工作やゲーム、プレゼントなど沢山の企画を行います。ぜひみなさまで来館ください！

会場：1階児童室 10:00～17:00 「ひよこつりゲーム」「赤ちゃんスタイブプレゼント」
10:30～11:30 「こどもの日工作 こいのぼりプレートをつくろう！」

会場：3階会議室
14:00～15:00 「ロビー展示合同企画 クイズ！アイヌ語どっち？」

ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
どなたでもご覧頂けます。

- ①**アイヌのせかい ☆ただいま開催中！**
開催期間 4月23日（土）～5月13日（金）
アイヌ語・アイヌ文化に関する児童向けの本や、アイヌ語カルタの展示を行います。
- ②**会ってみたい・見てみたい鳥たち**
開催期間 5月21日（土）～6月8日（水）
身近な鳥から、外国の鳥まで様々な種類の鳥の本を展示します。



大型資料の紹介

団体貸出資料について

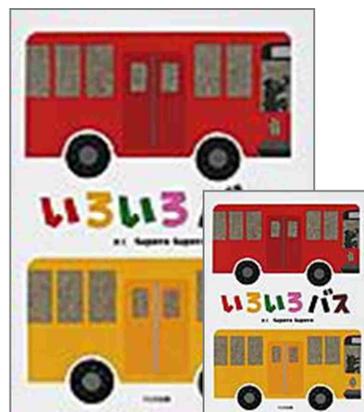
図書館では、大型絵本・大型紙芝居など、下記の資料について、団体利用者登録されている施設にのみ貸出しています。

貸出冊数は、2冊まで。貸出期間は1か月以内です。

団体貸出資料の受け渡しおよび返却は、原則として本館となります。

所蔵タイトルについては、図書館のホームページでご確認いただけるほか、希望される団体には、所蔵一覧をお渡ししています。

なお、団体登録を希望する場合は、児童室カウンターにて団体の住所・代表者名を確認できるものをご持参の上、お申し込みください。



最新刊「いろいろバス」
tupera tupera/さく
大日本図書/発行
・大型絵本 50cm
・通常絵本 25cm

【団体貸出資料点数】

<令和4年3月現在>

・大型絵本 (88) ・大型紙芝居 (8)

・エプロンシアター (12) ・パネルシアター (5)

※団体とは、西胆振3市の学校・幼稚園や保育所・児童館
および事業所などの団体・グループのことです。

※紙芝居の舞台(含：大型紙芝居用)・拍子木なども貸出
可能です。



事業報告

図書館協議会を開催しました

3月25日(金)、登別市立図書館協議会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症による臨時休館等により令和2年度は開催を見送ったことから、約2年ぶりの開催となりました。

会議に先立って教育長から委員へ委嘱状を交付した後、図書館からコロナ禍における図書館運営や活動実績、令和4年度予算などを報告しました。また、コロナ禍での読書環境構築の取り組みである「デジタル分館」についてプロジェクターで概要説明し、あわせて「アイヌ文献収集事業」で収集した知里真志保や知里幸恵のデジタル資料を紹介しました。その後、図書館の今後の取り組みについての委員からの質疑がありました。

会議の議事録は、まとめ次第、図書館ホームページに掲載いたします。

アーニス分館だより

アーニス分館では

- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 「国立国会図書館デジタルコレクション」
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ DVDを視聴できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。



今月のイベントのお知らせ

☆デジタル分館おはなし会☆

5月7日(土) 13:00~13:30

館内閲覧室の大スクリーンでお楽しみ
下さい

雑誌の付録抽選会のご報告

期間 令和4年3月4日~3月23日
応募数 225人
出品数 16点
発表日 4月1日
受け渡し 4月1日~30日

たくさんのご応募ありがとうございました。
皆様楽しんで頂けますように、これから
アーニス分館でも毎年開催いたしますので
よろしくお願い致します。

《新刊おすすめ紹介》

『さいはての駅カフェ探訪』

鈴木 弘毅 / 著 イカロス出版 



“さいはて”をテーマにした、終着駅、無人駅、ローカル線の駅構内で営業する駅カフェを巡った記録です。著者が、そこへたどり着くまでの旅の記録でもあり、切符情報や、情緒たっぷりの駅や店の人たちなども紹介しています。

かつて、たま駅長が勤務していた和歌山電鉄貴志駅には「たまカフェ」ができました。訪ねたら、現駅長の、三毛猫のニタマ、よんたまに出会えるかも。



「絵本に魅せられています」

コロナ禍が続く中で利用時間の制限はありますが図書館が開館されているのは私にとって有難いことです。家事を終えてホッとした時間が出来ると図書館から借りて来た絵本を開いたりエッセイを読んだりするのが楽しいひとときです。

若いころから読書家では無く、どちらかと言えば興味のある話題の雑誌等を読むくらいでしたが隣町の本屋さんに出かけると沢山並んだ色々なジャンルの本棚をゆっくりと眺めるのが好きでした。

そんな私が絵本に興味を持ったのは50歳を過ぎた時でした。たまたま図書室の談話コーナーで出会った人たちに「絵本の部屋で幼児向けの読み聞かせの会をやりたいね」の話題から「一緒にやらない」と声がかかりました。絵本の題名も作者も関心が無かった私は「幼児って絵本が分かるのかな?」「子育て経験の無い私に出来るのかな??無理、無理」とお誘いを断りました。すると、「ブックスタートの見学研修を企画したので一緒に行きましょう」との誘いがあり、参加したけれどやっぱり私には無理と思いました。そのことがきっかけで幼児向けの絵本を手取るようになりましたがこの本の何が幼児に良いのか理解が出来ませんでした。きっと子どもに寄り添って一緒にページを開くことが良いのでしょうね。

そのような出会いから数年後登別に引越しをしてきました。

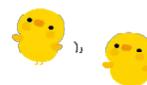
図書館が近いので1階の児童室の新作絵本棚やスタッフが選んだ今月の絵本コーナー、絵本を紹介している月刊誌や季刊誌の棚などを利用して絵本を借りて来ています。今ではお薦め絵本を紹介して下さるお友達も出来ました。

絵本の選書も変わってきました。以前は「もし、子どもに絵本を読んであげるのならこの本が良いかなあ」と思って本選びをしていた時もありましたが、今では自分のために絵本を選んでいきます。親族を亡くした時は悲しみや淋しさを癒してくれる絵本に包まれて、心が沈んだときには元気が出る絵本に大丈夫だよと励まされています。もちろん笑える絵本も大好きです。





『えらいこっちゃんのじどうしつ』



現在私はひよこを育てています。といっても、普通の生きているひよこではなく毛糸で作るぼんぼんのひよこなのです。児童室のこどもの日の催しとして昨年『ひよこつり』を行ったところ、皆さん楽しんで下さったようで、今年も開催出来たらいいなと思い、毛糸をちょきちょきハサミで切ってぼんぼんひよこを量産しているといったところです。

沢山釣って欲しいので、色んなカラーひよこを用意していますが、その為に開催の何か月も前から準備が始まります。毎日数羽ずつちょきちょきしつつ、貸出と返却業務。他にも新刊の用意やおはなし会で読む本を探したり…えらいこっちゃん。毎日目が回る忙しさです。

おはなし会といえば…私が初めて読んだ本が『ねずみのでんしゃ』でした。このお話は新学期を迎えるのにぴったりなお話なので毎年読んでいるのですが、一度ページを飛ばして読んでしまった事があります…えらいこっちゃん。(反省してます)

今はコロナ禍の関係なのか見られなくなりましたが、幼稚園のおさんぽ途中ででしょうか？先生の引率の元、クラス単位で児童室に来る事がありました。各自一冊借りたい本を探すのに所狭しと児童室内を散策する様子は微笑ましいのですが、あれどこ～？おもしろいのない～？と口々に聞いて来るのです。私は一人しかいません…えらいこっちゃん。しかし、皆ちゃんと案内の順番を待ってくれるのでえらい子達でした。また来てくれるのを待ってます。

本を破いてしまった、とお母さんと一緒に来る子供さん。本が破かれるのは悲しいけれど、素直に「ごめんなさい」と言ってくれる子供の姿には胸がキュンとします。しかし修理をすることには変わりません…えらいこっちゃん。頑張って直そうとテープを貼って下さる方もいらっしゃいますが、そのまま何もせず持って来て下さると助かりますね。

返却本の中にはたまに「おもしろかったです」とか「おそくなってごめんなさい」と、お手紙が入っていたり、直接お手紙を下さる子もいます。もうこれは胸キュンですね！嬉しくて大事に保管しています(*´ω`*)嬉しすぎて…えらいこっちゃん。もちろん直接お話して下さる子も可愛くて大好きです。

ひよこを作りながら児童室であったえらいこっちゃんの出来事を思い出していましたが、こどもの日の催しですね。作成している今現在では開催されたのかわかりませんが、開催される事を祈りつつ…

おまけ…題は『えらいこっちゃんのようちえん』という絵本から頂きました。
幼稚園に初めて通った子が何度も「えらいこっちゃん」と衝撃を受ける面白い絵本で、おすすめです(^)

えらいこっちゃんの
ようちえん

かさい まり・文
ゆーち みえこ・絵
出版：アリス館



ねずみのでんしゃ

山下 明生・作
いわむら かずお・絵
出版：ひさかたチャイルド

わたしのおすすめ本

アーニス担当 HANAMARU



『非正規介護職員ヨボヨボ日記 当年60歳、排泄も入浴もお世話させていただきます』

真山 剛／著 三五館シンシャ／発行 フォレスト出版／発売



大人気、三五館シンシャ 日記シリーズの第7弾です。

「介護の世界は想像をはるかに超えた、汚く危険できつい世界だった。」介護の最前線で奮闘する著者が、なぜこの仕事を続けているのか…介護現場の老いと死のドキュメントです。

欄外の用語解説も面白く、実際の体験に基づいた内容がとてもリアルで、入居者たちの人間味あふれるエピソードとそれを見守る筆者のホロリとくる逸話や、時には笑えるお話もあり、深刻な題材ですが、筆者の前向きな考

え方や心の優しさにあたたかい気持ちになりました。改めて介護の現場を知るきっかけにもなりました。この日記シリーズは、60代、70代の就業の実体験を綴っています。どのシリーズも一度読みだしたら止まらないお勧めの本です。

デジタル分館資料紹介



『全196カ国 おうちで作れる世界のレシピ』

本山 尚義／著 ライツ社／発行
電子書籍（フィックス）



世界各地の代表的な料理が紹介されており、日本でも手に入りやすい食材やスパイスを使っておうちで簡単に作れそうなレシピが満載です。世界にはまだまだ知らない料理がたくさんあり、眺めているだけでも楽しいです。

30か国を巡る旅をしてきた著者の、平和を願う『あとがき』も、ぜひご覧ください。

新着図書案内 令和4年5月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		筑紫と南島	吉村 武彦ほか
疲れないパソコン仕事大全	大林 ひろこ	せとうち津々浦々	山田 順子
アメリカの中学生が学んでいる 14歳からのプログラミング	ワークマン パブリッシング	古代中国の日常生活	荘 奕傑
愛書狂の本棚	エドワード・ブルック＝ ヒッチング	テルマエと浮世風呂	本村 凌二
まちライブラリーのたまたまこ	砂生 絵里奈	一冊でわかるギリシャ史	長谷川 岳男監修 村田 奈々子監修
● <自分>を知りたい君たちへ 読書の壁	養老 孟司	イースター島不可思議大全	芝崎 みゆき
1 哲学・宗教		アンデス・マチュピチュへっぽこ紀行	
人生はゲームなのだろうか？ <答えのなさそうな問題>に答える哲学	平尾 昌宏	● 徳川15代将軍解体新書	河合 敦
中国哲学史	中島 隆博	難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方	中村 恵
ようこそ、心理学部へ	同志社大学 心理学部	ソーニャ、ゾルゲが愛した工作人員	ベン・ マッキンタイアー
裏切り者は顔に出る	清水 建二	● アンネ・フランクの密告者	ローズマリー・ サリヴァン
なぜ、いま思考力が必要なのか？	池上 彰	評伝宮田輝	古谷 敏郎
人類と神々の4万年史 上・下	ニール・マクレガー	るるぶ' 23 石垣宮古竹富島西表島	JTBパブリッシング
開運大全	櫻井 秀勲	3 政治・経済・社会・教育	
● 孤独を抱きしめて 下重暁子の言葉	下重 暁子	不思議の国ニッポン	クーリエ・ジャポン
老いを愛づる	中村 桂子	いま中国人は中国をこう見る	中島 恵
2 歴史・地理		親ガチャという病	池田 清彦ほか
● 図説世界の水中遺跡	木村 淳 小野 林太郎	政治責任	鵜飼 健史
水中考古学	佐々木 ランディ	この国の危機管理失敗の本質	柳田 邦男
世界史年表・地図 第28版	亀井 高孝ほか	● 「トランプ信者」潜入一年	横田 増生
クルマでふらりと道の駅	浅井 佑一	13歳からの地政学	田中 孝幸
なぜ人類は戦争で文化破壊を繰り返すのか	ロバート・ベヴァン	検証政治改革	川上 高志
古代文明と縄文人	澤田 健一	14歳から考えたいアメリカの奴隷制度	ヘザー・アンドレア・ ウィリアムズ
日本史年表・地図 第28版	児玉 幸多	あなたのルーツを教えてください	安田 菜津紀
手紙が語る歴史秘話	「江戸楽」編集部	マル暴 警視庁暴力団担当刑事	櫻井 裕一
日本史の賢問愚問 2	中里 裕司	厚労省 劣化する巨大官庁	鈴木 穰
古代史入門事典	武光 誠	卑日	シンシアリー
お茶と権力 信長・利休・秀吉	田中 仙堂	「戦後」が終わるとき	坂元 一哉
江戸幕府の北方防衛	中村 恵子	印鑑の基礎知識 改訂版	寺澤 正孝監修
戊辰戦争と東北・道南	菊池 勇夫	外交官になるには	飯島 一孝
証言昭和史の謎	別冊宝島編集部	ゼロからわかる知らないと 損する行動経済学	ポーポー・ ポロダクション
進駐軍向け特殊慰安所RAA	村上 勝彦	2030年の東京	河合 雅司 牧野 知弘
アイヌモシリ・北海道の民衆史 増補改訂版	杉山 四郎	土地は誰のものか	五十嵐 敬喜

新 着 図 書 案 内 令和4年5月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
知識ゼロからのSDGs入門	夫馬 賢治監修	ブラックホール	二間瀬 敏史
Q&A 70歳までの就業確保制度の実務	布施 直春	デジタル社会の地図の読み方作り方	若林 芳樹
平林先生、大人として 恥ずかしくないマナーを教えてください	平林 都	● 世界を変えた12の時計	デイヴィッド・ルーニー
会社の片付け！	川井 かおる	宮沢賢治と学ぶ宇宙と地球の科学 1・2・3・4・5	創元社
若手育成の教科書	曾山 哲人	なぜ地球は 人間が住める星になったのか？	山賀 進
図解はじめて学ぶみんなのお金	エディ・レイノルズほか	絶景の成り立ちを学ぶ	山口 耕生監修
最新いまさら聞けない ビットコインとブロックチェーン	大塚 雄介	新・雲のカタログ	村井 昭夫 鶴山 義晃
世界マネーの内幕	中尾 茂夫	みんなで考える脱炭素社会	松尾 博文
図解よくわかる自治体予算のしくみ	定野 司	図鑑を見ても 名前がわからないのはなぜか？	須黒 達巳
大正ガールズコレクション	石川 桂子	ラジオ深夜便うたう生物学	本川 達雄
全国水平社1922-1942	朝治 武	ビジュアル進化の記録	ロバート・クラーク
複数人での会話がラクになる話し方	みやた さとし	人類の起源	篠田 謙一
実家の空き家問題を解決する！	主婦の友社	自然散策が楽しくなる！花図鑑	山田 隆彦
50代、家のことで困ってます。	長谷川 高	先生、モモンガが お尻でフクロウを齧っています？	小林 朋道
● 給料はあなたの価値なのか	ジェイク・ローゼンフェルド	あなたの知らない心臓の話	ビル・シャット
お隣は外国人 北海道で働く、暮らす	「お隣は外国人」 編集委員会	● テック・ストレスから身を守る方法	エリック・ペパーほか
お仕事六法	横山 佳枝	につぽんツバメ紀行	宮本 桂
がんばりすぎないお仕事復帰BOOK	藤井 佐和子監修 mamari監修	オオカミの知恵と愛	ジム・ダッチャー ジェイミー・ダッチャー
これからの時代を生きるあなたへ	上野 千鶴子	EXTRA LIFE	スティーブン・ジョンソン
話すことを選んだ女性たち	アナスタシア・ミコバ ヤン・アルテュス＝ベルトラン	最強のウォーキング脳	加藤 俊徳
ケアと家族愛を問う	宮坂 靖子	新感覚！脳トレBOOK違和感をさがせ！	ブティック社
● 搾取都市、ソウル	イ ヘミ	5 技術・工業・家事	
最期の声 ドキュメント災害関連死	山川 徹	私たちのサステナビリティ	工藤 尚悟
東京大空襲の戦後史	栗原 俊雄	おいしい家庭料理の作り方	大庭 英子
図説日本妖怪史	香川 雅信	奈良で学ぶ寺院建築入門	海野 聡
4 自然科学・医学		村上祥子さんの食べると生きる 人生最高のレシピ	村上 祥子
偉人たちの挑戦 1 数学・天文学・地学編	東京電機大学	さんねんなクルマ図鑑	昭和自動車研究会
科学法則大全	ブライアン・クレッグ	脱ペーパードライバー	森下 えみこ
数学書の読みかた	竹山 美宏	● はやぶさ2のプロジェクトマネジャーは なぜ「無駄」を大切にされたのか？	津田 雄一
アメリカの中学生が学んでいる 14歳からの数学	ワークマン パブリッシング	「無人戦」の世紀	セス・J. フランツマン
ニュースの数字をどう読むか	トム・チヴァース デイヴィット・チヴァース	はやぶさと日本人	永山 悦子
ゼロから学ぶ量子力学 普及版	竹内 薫	原発事故最悪のシナリオ	石原 大史
「化学の歴史」が一冊でまるごとわかる	齋藤 勝裕	Googleドライブ & OneDrive & Dropbox基本&便利技	リンクアップ

新 着 図 書 案 内 令和4年5月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
5 技術・工業・家事		ほとんどネコのこと	岩合 光昭
トコトンやさしいサービスロボットの本	清水 祐一郎	● ふぞろいなキューリと地上の卵	駒井 一慶
鍛冶屋 炎の仕事人	田中 康弘	乾燥地林	吉川 賢
私はわたし、84歳のスタイルブック	木村 真由美	7 芸術・スポーツ	
徳田民子さんの工夫のある家仕事	扶桑社	浮世絵が語る江戸の女たちの暮らし	藤田 誠
納豆がもっと好きになる#感動の納豆レシピ	夏見 奈央子	● 愛のぬけがら	エドヴァルド・ムンク
89歳、ひとり暮らし。	大崎 博子	ターシャ・テューダーのイラスト図鑑	ターシャ・テューダー
飾らない。76歳、坂井より子の今をたのしむ生き方	坂井 より子	日本の絵本100年100人100冊	広松 由希子
70からはメリハリ元気で自然な暮らし	沖 幸子	手帳&ノートのミニイラストの描き方	しろくまななみん
フリースタイル着物コーデBOOK	みさまる	もっと知りたいアイヌの美術	山崎 幸治
ハギレのレシピ	ブティック社	ちいさい世界づくり	Hanabira工房
ゆるくてかわいいはじめての刺しゅう	ありま	古くて素敵なクラシック・レコードたち	村上 春樹
かぎ針編みのコサージュ大全集	アップルミンツ	和音の正体	舟橋 三十子
シルバニアファミリー フェルトで作る着せかえ服	佐々木 公子	図鑑世界の作曲家	DK社
● おいしい子育て	平野 レミ	西洋音楽史大図鑑	スティーヴ・コリッソン ほか
● 土井善晴 一汁一菜の未来	平凡社	平成のヒット曲	柴 那典
こころとからだにやさしい 天然生活の料理入門	扶桑社	ギリヤーク尼ヶ崎という生き方	後藤 豪
おべんとうの教科書	ほりえ さちこ	将棋記者が迫る棋士の勝負哲学	村瀬 信也
60歳から始めたい ほんとうにおいしいものだけ!	石原 洋子	8 言語	
晩ごはん食堂	晩ごはん食堂	悪い言語哲学入門	和泉 悠
いつか家族でやりたい99の楽しいことリスト	むびー	聞き出す力	近藤 勝重
かんたん! はじめてのフリージング離乳食	フード・アイ監修	30分ファシリテーション	前田 鎌利
6 産業・商業		俗語百科事典	米川 明彦
エシカルフード	山本 謙治	913 日本の小説	
● 海を越えたジャパン・ティー	ロバート・ヘリヤー	包帯クラブ	天童 荒太
驚くほどよく育つ野菜づくりの裏ワザ決定版	木嶋 利男	パラレル・フィクショナル	西澤 保彦
プランターで楽しむおうちで野菜づくり	オザキ フラワーパーク監修	● ロング・アフタヌーン	葉真中 顕
野菜がよく育つコンパニオンプランツの極意	竹内 孝功	● おしゃべりな部屋	川村 元気 近藤 麻理絵
100円ショップで楽しむ多肉植物	榛原 昭矢	信長、鉄砲で君臨する	門井 慶喜
庭の楽しみ	境野 隆祐監修ほか	● あきない世傳金と銀 12	高田 郁
簡単DIYのできる花壇と寄せ植え	井上 まゆ美	ブラック・ムーン (「果てしなき追跡」シリーズ 3)	逢坂 剛
きくらげの逆襲	日本のきくらげ 普及推進協議会	奏鳴曲 北里と鷗外	海堂 尊
日本百貨店業発展史	末田 智樹	ヒノマル	古市 憲寿

新 着 図 書 案 内 令和4年5月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
ひまわりは恋の形	宇山 佳佑	● 燕は戻ってこない	桐野 夏生
砂嵐に星屑	一穂 ミチ	● 漆花ひとつ	澤田 瞳子
いえ	小野寺 史宜	ALIVE 10人の漂流者	雪富 千晶紀
アキレウスの背中	長浦 京	紙鑑定士の事件ファイル 2	歌田 年
その午後、巨匠たちは、	藤原 無雨	断罪のネバーモア	市川 憂人
楽園ジュシー	坂木 司	● ミシンと金魚	永井 みみ
恋愛の発酵と腐敗について	錦見 映理子	階段ランナー	吉野 万理子
ニコデモ	藤谷 治	派遣社員あすみの家計簿 3	青木 祐子
● 光る海(新・酔いどれ小籐次 22)	佐伯 泰英	小牧長久手仁義(三河雑兵心得 8)	井原 忠政
ななみの海	朝比奈 あすか	恋が生まれたこの街で	カツセ マサヒコ
● オオールリ流星群	伊与原 新	9 その他の文学	
● タラント	角田 光代	『その他の外国文学』の翻訳者	白水社編集部
花咲小路二丁目の写真館	小路 幸也	〈読む〉という冒険	佐藤 和哉
● 奇跡	林 真理子	ハヤカワ文庫JA総解説1500	早川書房編集部
北の大地	東 洵	ふたつの波紋	伊藤 比呂美 町田 康
名探偵・浅見光彦全短編	内田 康夫	うたをうたうとき	まど みちお
致死量の友だち	田辺 青蛙	いちばんやさしい作詞入門	中村 隆道
正義の段階 ヤメ検弁護士・一坊寺陽子	田村 和大	こんなに美しい月の夜を君は知らない	秋元 康
世界が青くなったら	武田 綾乃	フツーに方丈記	大原 扁理
クラウドの城	大谷 睦	● ないものねだるな	阿川 佐和子
● シャルロットのアルバイト	近藤 史恵	● 犬棒日記 続	乃南 アサ
人生の決算書	曾野 綾子	6Bの鉛筆で書く	五味 太郎
それぞれの風の物語 喫茶テノットより	中場 利一	連れ連れに文学を語る	古井 由吉ほか
コーリング・ユー	永原 皓	● きれいになりたい気がしてきた	ジェーン・スー
ヒカリ文集	松浦 理英子	背進の思想	五木 寛之
空にピース	藤岡 陽子	● 人生の旅をゆく 4	吉本 ばなな
陽だまりに至る病	天祢 涼	これは、アレだな	高橋 源一郎
看守の信念	城山 真一	うまれることば、しぬことば	酒井 順子
● レジェンドアニメ!	辻村 深月	● センス・オブ・何だあ?	三宮 麻由子
明治伏魔殿 開化奇譚集	野口 武彦	猫に教わる	南木 佳士
はじめての	島本 理生ほか	百歳いつまでも書いていたい	瀬戸内 寂聴
稔と仔犬 青いお城	遠藤 周作	レニーとマーゴで100歳	マリアンヌ・ クローニン
● 春のこわいもの	川上 未映子	ジョン・ウォータースの 地獄のアメリカ横断ヒッチハイク	ジョン・ ウォータース

雑誌受け入れの変更のお知らせ

アーニス分館で受入れしていた雑誌「たまごクラブ」「ひよこクラブ」の2誌は2022年4月号をもって受け入れが終了しました。

今後は新創刊の「初めてのたまごクラブ」「中期のたまごクラブ」「後期のたまごクラブ」、「初めてのひよこクラブ」「中期のひよこクラブ」「後期のひよこクラブ」をアーニス分館へ受け入れいたします。

「ひよこクラブ」「たまごクラブ」はバックナンバーのみの貸し出しとなります。（保存期間は発行から2年間）



登別市立図書館

図書館カレンダー 令和4年(2022年) 5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 本館休館	3 憲法記念日 本館休館	4 みどりの日 本館休館	5 こどもの日 子ども★フェスタ 分館休館	6	7 デジタルおはなし会 映画会
8	9 本館休館	10	11	12 ブックスタート 分館休館	13	14 えほんのへやのおはなし会
15	16 本館休館	17	18	19 分館休館	20	21
22	23 本館休館	24	25	26 分館休館	27 図書整理日 本館休館 分館休館	28 おはなしほけっと
29	30 本館休館	31	6/1	6/2 分館休館	6/3	6/4 映画会

図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	85-4324
休館日	月曜・祝日・年末年始 毎月最終金曜	木曜・年末年始 毎月最終金曜	年末年始のみ		日曜・月曜 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~17:30 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	巡回表のとおり